

【例題22】（大卒：畜産）

ある飼料の成分は、水分11%、粗蛋白質15%、粗脂肪 3 %、可溶無窒素物 34%、粗繊維 22%、粗灰分15%で、このうち、牛における可消化成分の消化率は、順に70%、60%、80%、50%である。この飼料の可消化養分総量はおよそ何%か。

- 1．43%
- 2．48%
- 3．53%
- 4．58%
- 5．63%

【例題23】（大卒：畜産）

次の文章は「令和2年度食料・農業・農村白書」に基づく、我が国の肉用牛の生産基盤の強化に関する記述である。文章中の空欄a～cに入るものの組合せとして正しいのはどれか。

農林水産省は、肉用牛の生産基盤の強化を図るため、a等の支援組織の機能強化を支援し、生産性の向上と省力化を推進している。また、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するためのbにより経営の体質強化を進め、さらに輸出の拡大に向けて和牛の生産拡大を進めるため、繁殖雌牛を対象としたcの交付等を行っている。

a	b	c
1. コントラクター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
2. コントラクター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
3. GP センター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
4. GP センター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
5. GP センター	畜産クラスター事業	日本型直接支払